

児童が各教科等に係る力を発揮しながら主体的に取り組む生活単元学習の指導 —「授業づくりシート」の作成と活用を通して—

特別研修員 特別支援教育 中川 太一（特別支援学校教諭）

【児童の実態】



関心のあることには意欲的に取り組める。
やりたいことを上手に伝える手段が少ない。

【教師の願い】



児童が自分で活動に取り組む力を高めたい。
各教科等の学びをいろいろな活動で発揮できるようにしたい。

手立て「授業づくりシート」の活用

児童の思いに沿った（主体的に取り組める）単元と目標の設定

① 児童の生活の姿と思い（実態把握）

給食、調理実習、買い物に意欲的⇒「食べたい」
時間があるとおもちゃを広げている。昼休みには外遊び。⇒「遊びたい」
電車やバスに乗る度に大喜び。⇒「乗り物に乗りたい」

② 上記の思いに沿って取り組めそうな活動

□おかしづくりをする。 昼食を作る。 □昼食を買いに行く。 □レストランに行く。
□娯楽施設（遊園地等）に行く。 公園などに遊びに行く。 □「〇〇ランド」で遊ぶ。
□他学年の友だちや教師と遊ぶ。 □市営バスを利用する。 電車を利用する。

③ 単元名と目標

単元名「電車でおでかけ」

目標「自分で持ち物等を用意し、電車を利用したおでかけを楽しむ」

④ 単元計画

導入	展開	振り返り
・プレゼンテーションソフトで、行先やおでかけの大まかな流れを知る。	・弁当を作り、電車で公園等におでかけする。 ・おでかけ月間として、週2回のペースで実施。	・毎時後、写真を見ながら、頑張っていたこと等を褒める。 ・写真を壁面に掲示していく。

① 個別の指導計画を踏まえながら、生活の姿から思い（やりたいこと）を汲み取る。

② ①の思いを受けて、児童が主体的に取り組む姿がイメージできる活動を複数挙げる。

③ ②の中で、自然なまとまりがでる組合せを検討し、を入れ、児童との合い言葉になる単元名と、単元全体の目標を決める。

④ 単元に係る活動が、一定の期間、児童の学校生活の中に位置付けられるように、単元計画を立てる。

活動に必要な各教科等に係る力の想定と支援の検討

⑤ 単元全体の活動に含まれる各教科等の内容

〈生活〉	〈国語〉	〈算数〉	〈道徳〉	〈自立活動〉
・公共施設を安全に利用する。 ・自分の荷物を整理する。	・思いを言葉で表現する。 ・身近な物の名前が分かる。	・お金の材料の数を数える。	・約束や決まりを守る。 ・友達と仲よく活動する。	・人とやりとりをする。 ・身体を思い通りに動かす。

⑤ 単元全体の活動の中に含まれる各教科等の内容を検討する。児童が主体的に活動に取り組む中で、必然性をもって学べる内容を選定する。

⑥ 各教科等の内容に係る力を発揮して取り組む姿と支援（一部）

名前	各教科等に係る力を発揮して取り組む姿	教科	支援
A児	<input checked="" type="checkbox"/> ジェムをスプーンですくってパンに付けている。 <input checked="" type="checkbox"/> パンを半分に折っている。	自立活動 自立活動	・小さいスプーンを使うことで、繰り返しすくえるようにする。 ・パンを固定する支援具を用意し、刃と刃を合わせやすくする。
B児	<input checked="" type="checkbox"/> 行きたい場所等を単語で伝えていく。 <input checked="" type="checkbox"/> 表や地図を見て、電車賃分のお金を用意している。	国語	・選択肢を写真やイラストで示し分かりやすい単語を添える。 ・表や掲示物の文字量を調整する。
C児	<input checked="" type="checkbox"/> お金やおかずの数を数えている。 <input checked="" type="checkbox"/> 自分で持ち物の準備や片付け管理をしている。 →おでかけ先での管理が課題	算数 生活	・「何を、いくつ」準備するか、明確に示す。 ・持ち物のリストを提示する。持ち物の置き場所をイラスト等で明確にする。

⑥ ⑤に係る力を発揮しながら取り組む姿や身に付けている姿を児童ごとに想定する。その姿を引き出すために必要な支援（教材、環境設定、教師の関わり方等）を検討する。

〈毎授業後〉

□欄を使用して、中間評価し授業改善を図る。
事後評価の結果を個別の指導計画にまとめる。

授業実践「電車でおでかけ」での児童の取組の様子

サンドイッチづくりの場面（A児）



たくさんジャムをつけるぞ

ねらったところに手を動かす（自立活動）

支援具でパンを固定し、スプーンを自分で何度もジャムを塗る。

行きたい場所を伝える場面（B児）



川で石遊びしたいです。

気持ちを伝える（国語）

写真やイラストを貼ったカードを活用し、一人で友達に自分の気持ちを伝える。

持ち物を準備する場面（C児）



必要な持ち物はお弁当と…

持ち物を準備する（生活）

写真付き持ち物リストを活用し、自分から準備を進める。

成果と課題

- 「授業づくりシート」の活用により、児童の思いに沿った単元となり、自分から活動したり、一人でやろうとしたりする姿が増えた。
- 「授業づくりシート」の活用により、一人一人の児童への支援が焦点化され、各教科等の力を発揮する姿が見取れた。
- 授業づくりにおいて、各教科等に係る力を教師が意識しすぎると、児童の思いから離れた活動内容になってしまうため、留意が必要である。